

2021 年度相談通訳者認定試験 応募要項

■目的

コミュニティ通訳の4分野（法律・行政・教育・こころの医療）において横断的に相談通訳活動をしている専門性の高い通訳者を、知識、技能、態度・マナーのレベルにて評価することで、認定し、その職業能力の向上と社会的地位の向上に資することを目的としています。

■相談通訳者とは

《背景》

問題を抱えて相談に来た日本語のわからない相談者に情報提供を行いつつ、寄り添い、話をきき、相談者の抱える問題を整理して、司法・行政・教育・医療等の専門家につなぎ、その専門家と相談者の間で通訳を行いながら問題解決へ向けての支援を行う専門職が必要とされています。当機構では2017年度に第1回相談通訳者認定試験を実施し、3言語（英語・中国語・スペイン語）で5名、2019年度は8名（英語・中国語・スペイン語、ポルトガル語）、2020年度は4名（ネパール語、ベトナム語）が認定されました。

【定義】コミュニティ通訳の活動分野である司法・行政・教育・医療の領域において、言語間の「橋渡し役」を務める専門職

【活動領域】司法、行政、教育、医療など横断的な相談にかかわる通訳を行うが、司法通訳のなかでの警察・法廷通訳及び医療通訳の中で、命に係わる医療行為、および専門的な医療知識が求められる通訳領域は活動領域から除く。



■応募の要件

次の（１）～（３）のすべてに該当する人

- （１） 原則 18 歳以上
- （２） 第 1 言語において、大学入学相当の語学力と知識がある。
- （３） コミュニティ通訳における 4 分野（法律・行政・教育・こころの相談）のいずれかの相談現場にて、通訳経験が 3 年以上ある。

※ 参考

通訳対象言語において Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) :B2 以上が目安（過去 5 年以内に B2 に相当する資格の取得）、日本語は日本語能力試験 N2、中国語は HSK 5 級・中国語検定 2 級、英語 2 級以上を最低限の目安とする。通訳対象言語で高等教育を受けていない場合は、対象言語において相当の語学力・知識があるかを試験等で確認する。

■対象言語（2021 年度）

英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語、フィリピン語、ロシア語、タイ語、インドネシア語、クメール語、ミャンマー語、フランス語、ベンガル語

■応募方法

以下の応募書類を当機構ウェブページからダウンロードして事務局まで郵送ください。

- ・ 経歴書
- ・ 活動実績書
- ・ 対象言語及び日本語に関する資格試験の認定証等があればその写し

■応募締切

2022 年 1 月 11 日（火）消印有効

※新型コロナ対策、試験会場等の都合により、応募期間最終日より前にやむを得ず、受付を締め切る場合があります。

■試験内容

≪ 1 次試験（書類審査） ≫

応募の要件を満たしているか

≪ 2 次試験（筆記試験） ≫

司法、行政・福祉、教育、こころの相談の各分野における基礎的な知識、また相談通訳者の倫理について問う（日本語での試験・客観式テスト）

≪ 2 次試験（実技試験及び面接） ≫

通訳場面を想定した実技試験を行うとともに、実技試験後に試験の振り返りを兼ねた面接を行う

■試験方法

	評価の対象	試験の方法	時間数
1次試験	実務経験	書類審査	
2次試験	基礎知識	4分野の指定図書の中から出題し、選択肢を与えて選ばせる方式の試験	70分
	倫理	○×による正誤選択式の試験	20分
	面接	面接試験	10分
	技術（スキル）	相談場面を設定した逐次通訳の実技試験	20分

■参考図書

- ・『外国人相談のための基礎知識』（松柏社）・『医療通訳学習テキスト』（創英社）
- ・『外国人の子ども白書』（明石書店）
- ・『学校通訳学習テキスト/公立高校・特別支援学校編』（松柏社）

■2次試験会場 ※1次試験合格者に2次試験会場を別途案内

【筆記試験・実技試験・面接試験】東京都または東京近郊の会場

※ただし、コロナの感染状況においては延期も検討する。

■受験費用

1次試験受験料 3,000円／2次試験受験料 17,000円／認定料10,000円

■スケジュール

2021年11月22日（月） 認定試験受験者募集開始
2022年1月11日（火） 応募締切（消印有効）
2022年2月上旬 1次試験合否発表（メールにて通知）
2022年3月12日（土）午後、または13日（日）午前 2次試験筆記テスト実施（都内会場）
2022年3月13日（日） 2次試験 実技・面接試験実施（東京都また近郊の会場）
2022年3月中 2次試験合格者発表
2020年4月中 認定証送付

■今後の方向性

・2019年度～2021年度までの3か年毎年認定試験を実施し、順次試験をおこなう言語を増やしていくと共に、2022年度に認定試験制度の検証を行う。

■注意事項

2次試験の「筆記試験」「実技・面接試験」については原則、都内等の会場にて対面で実施します。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、延期する可能性がありますことご承知おき下さい。

《申し込み方法と今後の流れ》



問合せ先 AM10:00~PM4:00

一般社団法人 多文化社会専門職機構 相談通訳者認定試験係

TEL:03-6261-6225 / E-mail:nintei@tassk.org

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-3 神田古書センター6F 内